

職場内コミュニケーション促進のための管理者評価手法

Method for estimating the supervisor's ability to promote communication in the workplace

概要

乗務員と現業管理者（助役・指導者等）のふだんのコミュニケーションを促すための、「管理者コミュニケーションスキル評価手法」を提案しました。

用途

- 現業管理者（助役・指導者等）の自己チェックや指導のきっかけ作りに使用します。

特徴

- 乗務員から相談を受ける機会が多い現業管理者の態度・行動を34項目に整理しました。
- 34項目に回答すると、5つの視点で評価結果とコメント（強み・弱み）を自動出力する評価シートを作成しました。



■ 評価シートの例

34項目に回答

担当している社員に対するふだんの接し方として、以下における内容は、ふだんのあなた自身にどのくらいありますか。最も近い選択肢の数字（1, 2, ..., 5）を1つ選び、回答欄に数字を入力（あるいは選択印）して下さい。

11 指示・用件はいつも、確実で丁寧なものです。	1	2	3	4	5
12 問題などあれば、常に考え、自分のことを声をかけ、褒めます。	1	2	3	4	5
13 管理者としての行動で、職場を少しでも楽しくします。	1	2	3	4	5
14 勤務時間中に、乗務員の様子を観察します。	1	2	3	4	5
15 勤務員同士の会話を聞いて入ります。	1	2	3	4	5
16 勤務員の仕事や、乗務員の意見を聞き入れます。	1	2	3	4	5
17 ノルマを守る、規律を守る、乗務員が困ったときに助けてくれるなどの接遇です。	1	2	3	4	5

回答終了

出力

